



能代健児

発行：2025年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：吉田真由美 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



2024年10月5日、能代高校東京同窓会の総会・講演会・懇親会の場面を紹介します。①佐藤禎稔さんによる講演会。②懇親会で、初参加者による自己紹介。③校歌斉唱。今回はステージ側にスクリーンを設置して歌詞を映しました。④締めくくりは万歳三唱。

2025年度(令和7年度)能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】2025年10月4日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

講師 大石 大さん(第73期)
小説家

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】8,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。

*若者特例があります(4ページを参照ください)。

【出欠】

*同封のハガキにご記入のうえ9月24日(水)までに投函ください。

*またはQRコードを読み込んで、申し込みフォームから送信してください。



〈総会・懇親会の詳細は本誌4ページに掲載しています。〉

平和のすがたを未来に

東京同窓会会長 第46期 吉田 真由美

今年は母校、能代高等学校の創立百周年にあたります。大正14年(1925年)に創立された旧制の秋田県立能代中学校を前身とし、戦後の新学制により昭和23年(1948年)能代南高等学校となりました。



その後昭和28年に現在の名称になり、卒業生は旧制時代からあわせて2万3千人を超えています。

昭和62年(1987年)に発行された東京同窓会の会報第1号を見ると、旧制中学卒業の世代が健在で多くの投稿が見られます。在学中も勤労動員で学校以外の場所で働くのが日常だったこと、卒業を待たずに級友たちが戦争に駆り出されていったこと、そして帰らぬ人となった友を悼む記事もあり、胸がつまる思いがします。学校生活に戦争が大きく影を落としていたことを、あらためて思い知らされました。

「二度と後輩達にあの思いをさせてはならないと云うのが我々同期年代の一致した感情じゃないでしょうか。」という第16期(昭和20年卒業)の近藤誠さんの言葉が心に響きます。

校歌の3番に「平和の相(すがた) 樽子山」とあります。これは戦後に改定されたもので、元の歌詞は「皇国(みくに)の相」だったそうです。51年前に今の高埜に移転するまで、樽子山(現在、能代市文化会館や市の図書館がある一帯)に校舎があったことを知らない世代も増えてきていますが、樽子山時代のはるかなる大先輩からのメッセージとして、この歌詞が末長く歌い継がれていくことを願います。

東京同窓会では、昨年ホームページをリニューアルしました。最新情報も過去の会報のアーカイブもスマートフォンで見やすくなりました。どうぞチェックしてみてください。

東京同窓会HP

<https://shoryokenji.com>



創立百周年を迎えて

能代高等学校長 第54期 平川 研

東京同窓会の皆様には日頃より母校の教育活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝いたします。私は、母校勤務2年目となりましたが、昨年は東京同窓会総会にも参加し、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



さて、今年度は156名の新入生を迎え、全校生徒数486名でスタートいたしました。生徒たちは、学業、部活動、学校行事など、それぞれの目標に向かって日々努力を重ねております。ここまでの活躍を少しご紹介いたしますと、運動部では、全県総体を勝ち上がった体操部男女、柔道部女子、空手部女子が中国インターハイへの出場権を獲得いたしました。文化部では弁論部が香川県で行われた全国高校総合文化祭に初出場いたしました。無線部は昨年全国優勝を果たした個人女子が、今年8月にリトアニアで実施されたARDF世界大会へ出場。各大会における選手たちの健闘や地域貢献活動への積極的な参加など、校内外での能高生の活躍は頼もしい限りです。

今年度は、百周年の大きな節目の年であり、今後、各種記念行事や記念誌の発行などが予定されております。先日は記念招待試合として、軟式野球の仙台商業高校、硬式野球の弘前学院聖愛高校をお迎えし、山田久志サブマリンスタジアムにおいて、地域の皆様とともに、全校応援をいたしました。能高祭では、テーマを「百継百華」とし、百年分の思いを継いで生徒一人一人が個性の華を咲かせました。今後、10月の創立百周年記念式典に向け、同窓生の皆様とともに歴史を振り返り、新たな伝統を築いていきたいと思っております。

東京同窓会の皆様には、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。皆様の今後益々のご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

稲の花の咲く音

能代高校同窓会副会長 第48期 泉 牧子

稲の葉先が、澄んだ夏空に向かって鋭く伸びています。今、日本中の話題にあることなどお構いなし、ただ、ひたすら根を張るだけ。8月には花を咲かせ、受粉して2時間たらずの命を終えると、花びらのない小さなその花は稲穂となり、お米になります。

さて本年は、母校、能代高校の創立百周年。人生のたった3年で、かけがえのない友人との出会いを果たし続けた歴史の時間です。

私は48期、高埴校舎の最初の入学生です。全校集会での「チューー」の大合唱、見上げられなかった自在の像。十里強歩では女子が待つ森岳に一番乗りした先輩にドキドキ。応援歌練習の緊張感。記しきれない愛しい環境を共にした同期と感情が重なります。

今春、能代市内の3高校は、いずれも定員に満たず、県教育委員会が示す第8次高校総合整備



計画で、現在の3校を2校に統合再編する必要性が指摘されました。

平成14年の同窓会報「松陵」にて、北朝鮮に拉致され帰国した方々の「家族や親戚とは別に、同級や同窓との交流の中に、最も帰国した安らぎを実感した。」との報道を受け、当時の同窓会長、田中仁純様の寄稿を紹介いたします。

「私たちの心のひだにも、身体の一部として母校があり、学友があることを思われました。私たち同窓会会員にとって能代高校は、父母兄弟に次ぐ心の故郷であることを思うと、母校のさらなる発展を願わずにおられません。」

それでは最後に夏梅レシピを。梅と同量の氷砂糖(甘いのが苦手な方は8割位)を保温ジャーで一晩。濃厚スッキリ梅ジュースのできあがりです。三種町の梅は秋田県一の栽培面積で、観光農園としても地元で大人気。

身近な農業界では、この三種の梅をブランド化した先輩、大潟村のパンプキンパイを商品化した先輩、地産地消を叫んでしまった自分、「ゆめぴりか」を開発した偉大な後輩、皆、松陵健児。ちょっと自慢入りましたが、松陵健児、誇りです。

能代高校東京同窓会 組織図(2025年7月1日現在)

会長(46 吉田真由美)			幹事長(50 石井 鉄美)		
副会長(46 秋林 泰樹)		副会長(50 石井 鉄美)※		副会長(47 野村 一哉)	
総務グループ		財務グループ		総会グループ	
49 片谷 浩之	46 秋林 泰樹※	66 高橋 弘志	50 石井 鉄美※	53 梶原 禎子	55 淡路 和子
50 伊川 千良※	50 佐藤 孝也	41 小河 範也	50 伊川 千良	45 山谷めぐみ	43 須藤 正喜
53 梶原 禎子※	54 佐藤 篤規	49 今野 泰則	66 高橋 弘志※	62 大高 忠勉	51 河田 康史
	78 今西 拓磨	49 近藤 敏仁	68 幸坂 智子	68 幸坂 智子※	55 嶋田久美子
		54 佐藤 篤規※	68 大塚さと子※	68 大塚さと子※	68 大塚さと子
			78 今西 拓磨※	77 山崎 愛実	

数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任

顧問	39 菅原 渉
監査役	44 庄内 俊憲
監査役	45 三浦 洋

■他の各期幹事

【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【34期】西川廣正【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、諸沢隆一【40期】小林哲【45期】真崎裕【46期】石井喬【49期】田村盛仁【53期】吉田順【67期】小野立、滝田祐作

2025(令和7)年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】2025年10月4日(土)

受付 12:00～
総会 12:20～
講演会 13:00～
懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

*世帯割引:夫婦とも同窓生の場合は1世帯
2,000円

*新卒者特例(今年は第95期):1,000円

【懇親会費】8,000円

*若者特例(第84期～第95期):無料(年会費のみ)

*同伴家族:半額(4,000円)、小学生以下無料
(年会費不要)

*東京同窓会以外の同窓生、友人:懇親会費のみ
(年会費不要)

◎各会費は当日受付にて受領します。

◎欠席の方は年会費をお振込ください。

【出欠】

*同封のハガキにご記入のうえ9月24日(水)までに投函ください。

*または、ハガキに印刷されているQRコードをスマートフォンで読み込んで、申し込みフォームより送信してください。

*住所等の変更届けも、上記のハガキか申し込みフォームをご利用ください。

◎未使用のハガキは当日会場で回収しますので持参ください。

●アルカディア市ヶ谷 アクセス

JR/地下鉄(有楽町線・南北線・都営新宿線)
市ヶ谷駅より徒歩3分
千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921
<https://www.arcadia-jp.org>



講演会

「小説家という仕事」

講師:大石 大さん(第73期)

大学在学中に小説を書く楽しさに目覚め、いつか小説家になりたいと夢見るようになりました。卒業後も働きながら小説の投稿を続け、35歳のときに作家デビューを果たすことができました。

おもにミステリー小説を執筆しており、これまで5作品を刊行しています。アイデアの生み出し方、ストーリーやキャラクターをどうやって作り上げていくのかなど、ふだんなかなか聞くことのできない創作の裏側をお話したいと思っています。



《講師プロフィール》 おおいし だい

小説家。本名、大石和大(かずひろ)。

1984年能代市生まれ。能代第一中学校、能代高校、法政大学社会学部卒業。

2019年『シャガクに訊け!』で第22回ボイルドエッグズ新人賞を受賞し小説家デビュー。著書に『恋の謎解きはヒット曲に乗せて』『死神を祀る』『校庭の迷える大人たち』『いいえ私は幻の女』がある。2年前より、秋田魁新報の土曜文化欄にて、隔月でエッセイを執筆している。

若手参加助成について

能代高校同窓会には「同窓会活動促進事業」があります。この制度により、若手同窓会員(30歳まで、今年は第84期～第95期)は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします(ただし懇親会費無料の適用は対象期間のうち一人2回まで)。

2024年度(令和6年度)総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【26期】佐々木高博(二中)【27期】大村真陸郎(浜口)、檜森寛(鶴川)【29期】笹木広澄(藤里)、宮腰興紀(一中)【30期】熊谷幸夫(一中)【31期】馬場富男(二中、旧姓工藤)【32期】笠原強(沢目)、高田政勝(一中)【34期】鈴木弘光*(二中)、西川廣正(東雲)【35期】干場革治(八森)【37期】若狭秀巳(森岳)【38期】菊地忠美(東雲)、佐藤能雅(東雲)【39期】大塚進(二中)、金野峻明(一中)、菅原渉(下岩川)【40期】小林哲(東能代)、清水英宏(田代)、松岡明(金岡)【41期】大久保英生(二中)、小河範也(二中)、田中亨(響)【42期】加藤正人(一中)、工藤長彦(琴丘)【43期】菊池忠夫(藤里)、北林博敏(下岩川)、福岡武(二ツ井)【44期】庄内俊憲(八森)【45期】井上清起(一中)、加藤成(下岩川、秋田県から参加)、鎌田泰宏(二中)、佐藤晃(二ツ井)、佐藤禎稔(東雲、北海道から参加)、高松武史(金岡)、袴田邦夫(二中)、平野信任(一中)、三浦洋(森岳)、山谷めぐみ(二ツ井)【46期】秋林泰樹(二ツ井)、大山望(二中)、斉藤靖雄(沢目)、佐々木恵(鶴川)、佐藤康准(一中)、長岡昭夫*(二中、米国から参加)、平川尚(一中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)【47期】五十嵐和雄(一中)、越中谷真喜(一中)、佐野輝彦(二中)、野村一哉(二中)【48期】泉牧子(檜山、旧姓矢田部、秋田県から参加)、野村松信(檜山、秋田県から参加)、藤田幹也(二中)【49期】片谷浩之(二中)、武田悟(東能代)【50期】碓井則子*(一中、旧姓相沢)、伊川千良(藤里)、石井鉄美(一中)、佐藤孝也(一中)、佐原貴光*(二ツ井)、鈴木裕子(一中、旧姓西田)、篠内重和*(二ツ井)、堀内学(二中)、村井清蔵(一中)【51期】川口行彦*(二中)、河田康史(檜山)【53期】男鹿谷修*(一中)、奥村雄二*(一中)、梶原禎子(八竜)、工藤勉(琴丘)、瀬尾強志*(沖縄県上山中)、吉田順(一中)、若林康人(一中)【54期】遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)、斎藤伸一(二中)、佐藤篤規(二中)、佐藤弘孝*(八竜)、平川研*(浅内、秋田県から参加)、鷺谷明子(一中)【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤)【58期】加藤一敏*(檜山)【62期】大高忠勉(峰浜)【66期】高橋弘志(二ツ井)【67期】小野立(一中、秋田県から参加)、滝田祐作(一中)、柳谷真澄(二中)【77期】山崎愛実(東雲)【78期】今西拓磨(八竜)

●同窓生出席者91人 *印は初参加者12人 (出身中学名は卒業当時の校名)

2024年度(令和6年度)総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【25期】工藤尊久#、栗原俊一#、町田次男#【26期】板倉富彌、畠山信孝【27期】石嶋喜直#、斎藤秀夫#、栗原優子#、山田邦夫#【28期】石川輔宏、須田正巳#【29期】赤塚鉄男、嶋田雄右#、鈴木元紀、塚本祝永#、宮腰瑞夫#【30期】宮腰七郎【31期】小田幸雄#、菊地宏道、佐藤昭夫、高松和夫【32期】高谷誠#、森田弘#、吉岡良隆【33期】金田英成#、清水靖子#、清野勝子#【34期】斎藤彰悟#、棚橋東峰#、畠山昇#【35期】小山内与治兵衛、恩田恒美、金子永喜#、金谷満郎#、平川徳道#、榊修#【36期】浅野友城、桜庭均#、智田慎正#【37期】今野廣隆#、小野津世子#、小杉山久晴、小松義明#、梨本主税#【38期】赤塚剛#、荒川久敏#、市川正敏、工藤博幸#、金野正道#、佐藤春香#、戸松伸一#、豊嶋誠、成田正廣#、福田満男#、松谷康雄#【39期】泉龍英、下坂節男#、住吉修平#、田村猛#、直嶋博明#、持田訓#、諸沢隆一【40期】小川孔輔#、川村力、熊澤朝子#、小松文明#、高橋博美#、武田清悦#、智田農#、敦賀照光#、平澤知明#、増田春樹#【41期】金子裕二#、鈴木幸男、原田税、藤田久夫、水木秀範#【42期】水澤秀夫#【43期】石塚信一#、五代儀彦秀#、幸坂和彦#、白木仁#、須藤正喜#、高橋敦子#【44期】佐藤伸、森岡雅信、山崎友久#、渡辺光一、渡辺隆幸#【45期】相澤正和#、大塚雄蔵#、加賀谷正、加藤秀樹#、金子豊#、河田昌俊#、小杉山乙矢#、長江妥貴子、奈良博文#、能上慎也#、原田康男#、真崎裕#、港基樹#【46期】大塚晃#、清水文彦#、鷺谷太郎#【47期】大久保昭佳#、大槻務#、腰山達哉、成田俊一#、山田肇#【48期】淡路正則#、大黒規正#、北林蒔子#、小嶋覚#、小林金雄#、佐藤公樹#、佐藤美香子、山崎陽子#【49期】大塚聡子#、鎌田健二#、近藤敏仁#、今野泰則、佐藤良孝、佐藤互#、田村智昭、田村盛仁#【50期】大塚大#、北村よう、藤田宏#【51期】池内史彦#、工藤治#、袴田亘#、平塚征悦#、平塚佐智子#、萬寶通子、村田祐子#、安田勉#【52期】井瀨正彦#【53期】鈴木美千子#、堀内博司#【54期】今佐都美、佐藤周之#、土濃塚昌隆、三浦佳奈子【55期】浅野敦志、伊藤広一#、大山顕#、谷内宏行【56期】部村由美子#、渡辺直子【59期】畠山真吾#、日吉由紀子【60期】安井正彦【63期】長岡貴博#、三戸和史【68期】大塚さと子、幸坂智子【83期】笠井織夢【84期】松橋廉【88期】佐藤美那子#

●#印は会費納入の方(年会費世帯制割引の適用者3組はそれぞれ2名の名前を掲載)

亡くなられたとお知らせいただいた方

15期 吉田信一(2023年9月)、21期 五十嵐資和(2023年11月)、25期 田中仁純(2025年5月)、29期 大越善蔵(2023年)、32期 小高功(2020年)、39期 茂呂忠良(2023年10月) ()内は逝去された年月

謹んでご冥福をお祈りいたします。

※このページは敬称を略しました。

能 高 生 だ よ り

～松陵健児の活躍～

体操部 男子主将 3年 菊池 颯大

能代高校体操部は強化部として毎年全県総体を勝ち抜き、インターハイに出場しています。一昨年は女子団体、男子個人、昨年は男女団体、男子個人でインターハイに出場しました。私は1年次から全国大会という大きな舞台を経験し、2年次で団体で出場することもできました。

私自身は怪我で思うように練習ができない時期があり、そのときは他の部員が成長していかなくて自分だけ練習ができず、すごく焦りを感じました。それでもたくさんの人に相談に乗っていただき、助けられ、怪我を乗り越えることができました。

今年度キャプテンになり、これまでの経験を生かし、より強いチームになろうと練習に励んでいます。部員全員で悔いのない最高の試合をしたいと思い、現状の課題をなくすため、計画、練習、反省を繰り返し、競技力向上に努めています。

その結果、先日全県総体では男女団体、男女個人すべての種目において優勝を勝ち取りインターハイへの出場を決めました。

インターハイでは応援してくれた保護者の皆さんや指導して下さった先生方のためにも恩返しとなるような演技ができよう頑張ります。今後も体操部への応援をよろしくお願いします。



写真左下から1番目が菊池颯大さん

空手道部 女子主将 3年 大山 陽彩

私たち、空手道部は女子団体組手が3年ぶりにインターハイ出場を決めました。去年の全県総体では、あと1勝の差で敗れ、2位という悔しい結果でした。私は団体メンバーとしてその悔しい場面を経験したこともあり、自分たちの代で全県優勝、そしてインターハイ出場にける思いが強くなりました。

今年度は監督・コーチ陣も新体制となり、より一層熱量の入った練習をしてきました。監督・コーチによる熱く丁寧なご指導、そして各々が課題と向き合うことで結果に結びつけることができたと思います。

相手のほとんどが経験者の中、私たちは全員が高校から始めた初心者ですが、決して怯むことなく自分たちの努力を信じて、常にベストを尽くしてきました。インターハイに向けて残りの期間、県代表としての誇りと責任を持って練習に励みたいと思います。また、インターハイという夢の舞台で貴重な経験ができることに感謝し、惜しくも東北大会・インターハイに出場できなかった仲間の思いも背負って全力で戦ってきます。

監督・コーチ、顧問の先生方、保護者の方々、応援して下さるすべての方々に感謝し、伝統ある能代高校空手道部としてふさわしい試合をしてきます。



写真中央が大山陽彩さん

総会・講演会・懇親会報告

会 員 だ よ り

前年度を上回る参加者を迎えて

2024年の能代高校東京同窓会総会・懇親会が10月5日(土)、アルカディア市ヶ谷で開催されました。来賓として能代高校の平川研校長先生、本校同窓会の泉牧子副会長、能代工業高校東籟会の藤田幹夫会長と鈴木猛顧問、大館鳳鳴高校東京鳳鳴会の石川早苗会長をお迎えし、前年度を上回る総勢94名が参加しました。

総会では2024年度の報告および2025年度の活動方針・予算案に加え、役員改選についても審議され、吉田真由美会長の再選を含めすべての議案が承認されました。

講演会「夢のロボットトラクタが食料生産の現場を変える」の講師は第45期の佐藤禎稔さん(帯広畜産大学特任教授)。いま注目のスマート農業の最先端技術を紹介しながら、昨年夏に始まった米不足の問題にも触れ、日本の食の未来についてさまざまに考えさせられる内容でした。

懇親会では平川校長先生から在校生の活躍の様子などをお聞きし、熊谷幸夫さん(第30期)の音頭で乾杯。大村小町さん(本名:柳谷真澄、第67期)の司会で初参加者紹介、松陵クワイヤのリードで県民歌を含む歌唱などを楽しみつつ、世代を超えて歓談、交流する様子が見られました。

恒例により校歌を4番まで斉唱し、出席者のなかで最年長の佐々木高博さん(第26期)の発声による万歳三唱でお開きとなりました。



佐藤禎稔さんの講演会では在学中の思い出を語る場面も。

東京同窓会を支え続けた礎の人

第39期 菅原 渉

東京同窓会を語るとき、私の心にまず浮かぶのは、今は亡き八柳昭義先輩の笑顔と、ひたむきな姿です。

私が同窓会のお手伝いを始めた30代前半のころ(約40年前)。先輩の職場「友和」(小林肇元会長の会社)の喫茶室に集まり、総会案内状の封入や切手貼りを数人で行った日々が思い出されます。まだパソコンのない時代、約2000通の宛名を一つひとつ手書きし、発送準備に追われたあの頃。コーヒーを飲みながら交わした郷里の話、同窓会への思い……あの作業は面倒ながらも、不思議と楽しく、温かな時間でした。

やがて時代はワープロへ、そしてパソコンへと移行。先輩は率先して名簿管理の電子化に取り組み、10数枚にもわたるフロッピーディスクにデータを整え、次世代へと繋ぐ礎を築いてくださいました。現在の会員名簿の形は、その地道で献身的な努力の賜物に他なりません。

小林会長の退任時、八柳さんを次期会長にという声は、誰からも自然にあがったものでした。しかし、ご本人は「小林・八柳と続くのはまるで世襲のようでは」と固辞され、畠豊彦さんをワン・クッションで、その後ならと皆さんを納得させた経緯がありました。そうした謙虚な姿にも、先輩のお人柄が滲んでいました。



2000年10月6日に学士会館で開かれた東京同窓会の総会で、事務局長として登壇した八柳さん。右は菅原さん。

その後間もなく病に倒れ、復帰を目指して懸命にリハビリに励まれたものの、それは叶わぬ夢となりました。私たちは、一人の先輩を失っただけでなく、東京同窓会という大きな家の礎を支えてくださった大恩人を永遠に失ったのです。

心よりご冥福をお祈りし、八柳さんが遺してくれた数々の想いと足跡を、これからも大切に繋いでまいります。

元事務局長の八柳昭義さんを偲んで

第40期 小林 哲

私小林は、昨年7月6日に逝去した第26期の八柳昭義さんの甥にあたります。以下、いつも呼んでいたように「昭義さん」と書きます。

昭義さんは、1981年に能代高校東京支部を能代高校東京同窓会と改称した時から10年間、当時の小林肇事務局長の下で会計を担当しました。1991年からは会長になった小林肇さんの下で事務局長を務め、1999年に畠会長に交代してからも事務局長を継続し、本人が病氣理由で退任した2003年までの12年間、事務局長として東京同窓会を支えました。

昭義さんは2012年まで総会に出席し、その後外出が不自由になり、2017年にはアパートで倒れていたところを運良く発見されて救急搬送されました。私が緊急連絡先として駆けつけて対処し、その後の入退院、アパートの処分、施設への入居、諸手続き等のお世話を行い、ほぼ毎月、病院や施設で面会して様々な話をしました。

東京同窓会総会への私の同期の参加者が1～2名になっていたことが話題になった時には、通常のカンファレンスに加えて葉書等で直接参加を呼び掛けることが有効だとアドバイスがありました。それを受けて、2022年の総会には、私の同期の小川孔輔さんの講演があることを知らせて参加を呼び掛ける葉書を私から関東在住の同期宛てに出し、結果として同期11名が総会に参加し、旧交を温めることができました。昭義さんの指摘は正に的確でした。昭義さんの足跡の一例です。

東京同窓会に対する昭義さんの想いを伝承する気持ちを込め、昭義さんの冥福を祈ります。

合掌

能代高校東京同窓会に参加して

第45期 佐藤 晃

会報「松陵健児」への投稿機会をいただきありがとうございます。同窓会への出席は前年度に続き2回目となります。会社勤務の約40年間は積極的に参加したいという気分にはなれず、いつの間にか定年退職を迎えました。これから残りの人生を精一杯楽しく過ごせるという時、前会長の三浦さんより出席を請うお葉書をいただきました。年代が違っても同じ同窓生でも面識がないため、このような集まりにはなじめない性格ですが東京近辺で活躍をされている諸先輩や後輩方々の活躍を見聞きするにつれ、とても元気づけられました。

帯広畜産大学の佐藤教授による「大規模農業生産におけるシステム開発」の講演を拝聴し、まだまだ隠居するには早いと思い知らされた次第です。日本の不安定な食料事情を鑑みれば、益々の成果をあげられることを期待しております。

私事で恐縮ですが、人生において高校時代の3年間は子供から大人に移行するセンシティブな時代で自分にとって希望に満ちた良き時代とは思っていませんでした。しかし何故か当時の記憶はなくなってしまうのです。樽子山の古びた木造校舎で大学受験と成績を気にしながら、放課後に体育館で先輩応援団のご指導のもと、校歌や応援歌を半強制的に練習させられたことなどはすっかり脳裏に焼き付いていました。私にはたわいのない高校時代の思い出が東京同窓会に参加した事で次から次へ出てくるのは不思議なことです。同窓会とは過去を引っ張りだしてくれる時間であることを理解し、このような場を長年運営され情報発信されてきた事務局スタッフの方々には感謝しかありません。ありがとうございました。

遠い過去の自分に会える機会

第46期 長岡 昭夫

高校を卒業してから半世紀、今回初めて同窓会に参加させて頂きました。50年ぶりともなると、街ですれ違っても気が付かない程に旧友たちの外見は変わっていましたが、話し方や仕草に当時の面影がそのまま残っていて、あっという間に高校

時代にタイムスリップしてあの頃の記憶が次々と蘇ってきました。

話題は同級生の話に始まって、先生のことや当時の能代の状況など本当に楽しかったです。最近は何歳かのせいかわからない1分前に考えていたことさえ忘れるくらいなのに、高校時代のことはよく覚えていて不思議です。50年前のわずかに3年間のことが何故特別の思い出として残っているのでしょうか? 高校生の時は、学校の授業を受けて受験勉強してクラブ活動に少し参加したぐらいで、たいしたことは何もやっていないのにです。おそらく、子供から大人になるまでの多感なこの時期は、感情の揺れというか感受性が非常に強く些細な出来事でもその時の感情とともに心の中に深く刻まれるのかもしれませんが。私は、とても人見知りする高校生でしたが、自分がそんな性格だったなんて長いこと忘れていたのに、今回同窓会に参加してあらためてそのことを思い出し、若かりし日のそんな自分が恥ずかしくも、とても愛おしく感じました。遠い過去の自分に会えるなんて何て素晴らしいことでしょうか。

父母も亡くなり、今後故郷に帰る機会が益々少なくなりそうですが、これからも東京同窓会に参加していこうと思っています。

実家を手放してしまった

第51期 河田 康史

父が亡くなり、檜山の実家が空き家になり、8年目の夏を迎えた今年7月、実家は人手に渡りました。能高の先輩と業務契約し、売却計画を立てて、約1年。予想以上に早い動きでした。遠方で暮らし、実家処分にヤキモキしている東京同窓生の一助になれば幸いです。先輩による近所住民取材から「河田プロジェクト」は始まりました。季節毎にしか訪問しない私には聞こえて来ない噂も丹念に聴取してくれました。その一つが、公道に面したケヤキの大木2本。かなり太い枝葉が突然落ち、「通行人が危険」と苦情がありました。早速伐採依頼となりますが、高所作業車、警備員配置、枝葉処分費など2日間で97万円もかかったのは痛手です。枝葉ゴミの処分施設が能代市になく、秋田市まで往復するおまけ付き。伐採作業には、これまた能高の先輩・便利屋が登場しました。

購入希望者が現れた時点で、食器棚や洗濯機など小家具などを撤去し、水回りなどクリーニングし、「見せる努力」でした。草ボウボウの坪庭では7年ぶり置き石が顔を出し、数カ所で子猫がミャーミャー。人の代わりに棲む気だったらしいです。

当初、私は実家(敷地150坪。建物と土蔵)を更地にして売却するつもりでした。空き家が傷みだし、自然災害で近所に迷惑をかけたくなかったからです。しかし、先輩の見立ては「解体に少なくとも片手、500万円はかかる。更地にしても500万円では絶対売れない」。絶句、欲しい人がいたらタダでもあげるぐらいの気構えが必要ということですね。私は運が良かった。実家近くの作業場(築20年)購入希望者が「住居もあればなおいい」と。しかし、「作業場売却額〇〇〇万円、実家をつけても〇〇〇万円」。つまり実家はタダです。現実には厳しいですが、手元の負担は大幅に減ります。まとめでの売却を決心しました。

先輩2人とのやりとりは、ほぼLINE(ライン)。各作業前後の写真や請求書や問答などの書類もこまめに添付され、横浜と能代の距離を感じさせませんでした。履歴の確認もすぐできます。それ以上に、最大のメリットは先輩たちが現地・能代を知り尽くし、人脈が豊富なことでした。家の処分から始まる膨大な作業は、遠方においては全く無理です。私は山林や畑の処分についても先輩らにお願いし、情報収集してもらっています。早晚、いい方向に行くことを期待しています。

今、実家をどうしようかと、不安な気持ちでいる東京同窓会のみなさん、ぜひ地元の能高OBを頼ってみましょう。

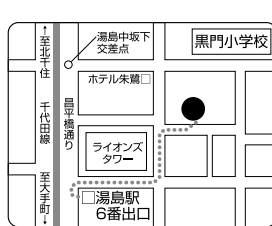
湯島で同窓生に会える店



あぐ・季節料理

とぎさくち

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山(藤里町)出身



千代田線**湯島駅**6番出口
徒歩1分
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)

東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル 1F ☎110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

同窓会、同期会、私の歩み

第54期 佐藤 弘孝

昨年、初めて同窓会に参加しました。きっかけは、同窓会のプログラムに従兄・佐藤禎稔の講演会をみつけたからです。数名の同期とも再会でき、さらに秋田から駆けつけた同じクラスの平川校長との思いがけない再会もありました。これをきっかけに、今年の5月には東京還暦54期同期会にも参加させていただきました。卒業してから40年ぶりの再会。正直なところ、顔だけでは誰だかわからないこともありましたが、名前を聞くとおぼろげながら記憶が蘇りました。当時は話す機会がなかった方とも杯を交わしました。そこはやはり秋田県人、日本酒がたちまち空になっていきました。何を話したかは定かではありませんでしたが、お酒と笑いに包まれたひとときは、高校時代にはなかった親交となりました。幹事の方、ありがとうございました。

さて私の方は、ODA(政府開発援助)を通じて途上国の上下水道事業に携わってきました。これまでに28か国で業務を経験し、その多くが不安定な国でした。ときには紛争に巻き込まれることもあり、南スーダンでは内戦により退避。最近では、パレスチナ・ガザでの紛争発生時に西岸地域滞在、陸路でヨルダンに避難しました。ミャンマーでは業務が中断しています。現在は主にカンボジアに通っていますが、次回同窓・同期会には出張の予定を調整し参加したいと思います。会では、それぞれの人生を歩んできた仲間と杯を酌み交わし笑い合うことで、人生に新たな彩が加わるような気がしています。



懇親会で、平川校長先生を囲み第54期生が集合。

能代で開催された同期会に参加

第55期 嶋田 久美子(旧姓工藤)

令和7年1月3日、プラザ都にて新制第37期(通算55期)卒業40周年同期会が開催されました。能代高校を卒業してから恒例の10年ごとの同期会で、私は4回目の開催で初めての参加となりましたが、とても楽しい時間を過ごしました。

恩師である小玉幸徳先生、岡卓夫先生、柴田和郎先生もご列席いただき、小玉先生からの挨拶で、年齢(92歳)をきいてびっくり。そしてまだ執筆活動されていると伺い、すばらしいです。人生100年時代を、元気で楽しんで、やりがいをもって生きている手本ようです。やっぱり私たちにとってはいつまでも先生として、生き方の背中を見せていただいているようでした。

そして、同期のみなさん、卒業して以来初めてお会いする方も多かったのですが、びっくりするほど変わらず若々しい。すぐわかる人と、名前をきいてもなかなか思い出せない人もいましたが、クラスごとで飲み出したら、すぐに和気あいあいと打ちとけて、なつかしい思い出話や、現在の活躍ぶりなど、楽しい時間は、あっというまに過ぎ、二次会、三次会と別れを惜しむように、楽しい夜を過ごしました。

この同期会を機会に、来年は還暦のお祝いをしようとか、女子会をしようという声も上がり、またみんなに会える機会が増えそうで楽しみです。何より、次回の卒業50周年の同期会で、また元気でみんなにお会いすることがとても楽しみです。

このようなすばらしい同期会を企画、運営してくださった実行委員のみなさん、ありがとうございました。本当に感謝です。



能代市のプラザ都で開催された同期会にて、飲む前に集合写真を撮影。恩師を含めて67人が出席しました。

久しぶりの再会に心躍る夜

第62期 大高 忠勉

長い間待ち望んでいた夜が、ついに訪れた。5年振りである。新型コロナウイルスの影響で中断していた「能高五日会」。あの頃と同じ笑顔がテーブルを囲み、懐かしい思い出と新しい話題が飛び交う。日々の忙しさの中で少しずつ距離が生まれていたかもしれない。それでも、再び顔を合わせた瞬間に、時が戻ったかのように感じた。

昨年9月の会場は新宿にあるワインを楽しめるお店である。ワインに詳しい第66期の高橋君にワインを教えてもらいながら笑い合い、語り合い、気づけば何時間経っていた。

世代は違えど、高校時代の話で話が尽きない。能代高校東京同窓会に参加して25年くらい経つが、たくさんの先輩と後輩に出会う事ができて私は幸せだ。

コロナ禍前、五日会は20名以上の参加者がいて、年4回開催されていた。先輩には可愛がって頂き、ご馳走にもなった。この若手が集まる会五日会を再び活性化させて、若者が交流できる機会を作っていきたい。近況を聞きながら、励まし合い、これからの未来に向けての夢を語る。方言で語り合うのも格別だ。



2024年9月13日の五日会終了後に。

東京同窓会の同好会

東京同窓会には以下の同好会があります。野外活動が同好会として加わりました。参加希望や新たな同好会の提案等は事務局へご連絡ください。

◇野外活動同好会

葛西臨海公園でバーベキューや「なべっこ遠足」をやっているグループです。今年6月29日には参加10名にて空梅雨の晴天の下バーベキューを開催し、けやきの太木の木陰でたっぷり5時間「ワイガヤ」しました。第51期の平塚征悦さんが毎回場所を確保してくれ、買出し部隊が朝一に近くで食材調達しますので、参加者の負担は自分の飲み物と公園利用料程度です。冬にはなべっこ遠足の開催予定です。東京同窓会のホームページで募集しますのでご参加歓迎します。代表：石井鉄美(第50期)



◇能高五日会

若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会を開催。今年8月29日(金)には新宿ばでごん亭で開催。代表：高橋弘志(第66期)

◇能球会

東京近郊のコースでゴルフを楽しんでいます。次回は今年10月16日に東京ベイサイドゴルフコースで開催予定。代表：石井鉄美(第50期)

◇能高釣クラブ

自然を満喫しながら、溪流釣を楽しみます。代表：小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

日常あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。代表：吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

能代カップ等の観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流など。代表：片谷浩之(第49期)

企業・個人のお困りごと
お気軽にご相談ください



弁 護 士 法 人
A K法律事務所

弁護士 野村信之

第二東京弁護士会所属

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-7
協販ビル7階

TEL: 03-3518-2233
FAX: 03-3292-0234
Email: nomura@aklaw.jp
URL: https://aklaw.jp

2025年度(令和7年度)収支決算報告書(2024年8月1日~2025年7月31日)

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	予 算	決 算	項 目	予 算	決 算
総 会 収 入	670,000	713,000	総 会 費	955,000	1,084,825
会 費 収 入	360,000	392,000	組 織 拡 張 費	60,000	32,514
雑 収 入	70,010	92,887	一 般 管 理 費	85,010	60,025
当期収入合計	1,100,010	1,197,887	当期支出合計	1,100,010	1,177,364
			当 期 収 支	0	20,523
			前年度繰越金	1,120,664	1,120,664
			翌年度繰越金	1,120,664	1,141,187

■同年度の収入には、次の同窓生からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。【43期】菊池忠夫
★会報には簡易版を掲載しています。東京同窓会ホームページでは詳細をご覧いただけます。

【会費納入のお願い】

会員の皆様から納入していただいている年会費は主に会報の発行と、総会開催に掛かる費用に充当されています。

今後とも納入にご協力をお願いいたします。

●年会費は2,000円です。

以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(手数料は同窓会が負担)

会報に同封した赤色の用紙をご利用ください。現金で入金の場合は、払込人に「現金利用時の加算料金」110円がかかります。通帳・カードを使用すればかかりません。

②ゆうちょ銀行へ振込

下記「年会費振込先」の口座へお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

ゆうちょダイレクトをご利用の方は、手数料が無料になるサービスがあります。

③総会の会場で納入

出席の方は受付で現金をお預かりします。

●年会費振込先

◇郵便払込口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

◇ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店

普通預金 5914261

名義 能代高校東京同窓会

【広告のお申し込みについて】

■能代高校東京同窓会の会報『松陵健児』および東京同窓会ホームページへの広告を募集しています。会社やお店、商品など、広告の掲載をご希望の方はEメールで詳細をお問い合わせください。

また、その他のご連絡もEメールでお送りくださいますよう、お願いいたします。

NoshiroHTR@gmail.com



TOKYO

OSAKA

訪問介護・訪問看護・リハビリ・ケアマネ・福祉用具・デイサービス



株式会社グッドライフケア東京

TEL 03-3537-0790 (代表)

東京都中央区新川 1-23-5 ONE SHINKAWA 3 階

GOOD
LIFE
CARE

【ご寄付のお願い】

東京同窓会の活動をさらに充実させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

年会費納入の際に払込用紙の金額を訂正してお送りいただくか、上記ゆうちょ銀行への振込、総会の受付でも承っております。

松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第35号

発行日 2025年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 吉田 真由美

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

E-mail: NoshiroHTR@gmail.com

Website: https://shoryokenji.com



ホームページ

最短距離で、最先端へ。

工学部

宇宙・半導体工学科

2025年4月、始動

OPEN
CAMPUS

新習志野キャンパス

8/2 10:00~

15:30

事前予約不要

入退場自由

「超小型衛星」4号機BOTAN が

この秋、宇宙へ飛び立ちます

本学では拡大する宇宙産業を支えるため、宇宙で確実な動くものづくりができる「高度技術者育成プログラム」を実施しています。



「超小型衛星」の外観

千葉工業大学

公式ウェブサイト

TEL.047-478-0222(入試広報部)

〒275-0016

千葉県習志野市津田沼2-17-1

